

# 【第2次札幌新まちづくり計画 平成22年度進行管理評価結果】

## 『政策目標2 主体的な活動が生まれ、経済の活力みなぎる街』

### 重点課題3 札幌らしい新産業の育成と企業の誘致

**＜施策の基本方針＞**  
 さっぽろのブランド力をさらに向上させるため、札幌市立大学をはじめとした研究機関が持つ知の資産と産業を結び、デザインやバイオの分野などで札幌らしい特色ある新産業を育成し、スイーツなどの食品関連産業とともに国内外に発信します。また、平成27年までにIT・コンテンツ産業売上高1兆円を目指し、人材・企業を育成し、映像を中心としたコンテンツ分野の取引の拡大を図るとともに、IT関連企業などを積極的に誘致します。

**● 事業費の進捗率**  
 76.6% 算出式: (H19決算額+H20決算額+H21決算額+H22予算額) 1,568,685千円 / (計画事業費) 2,047,500千円

**● 施策別の主な取組内容**

**19～21年度(実績)**  
**【施策1】札幌の都市イメージを活用した産業の振興**  
 ・「道産食彩HUG(ハグ)」の運営を補助することで、広く全国各地の道産品を販売することができ、市民や観光客に北海道の魅力を発信に貢献した。  
 ・スイーツコンペティションやスタンプラリーの実施に加え、「さっぽろスイーツカフェ」を開設した。  
**【施策2】IT・コンテンツ・バイオなどの新産業の育成・拡大**  
 ・若手クリエイターを首都圏の映像制作会社に派遣するなど人材育成を進めるとともに、さっぽろフィルムコミッションの機能強化を行った。  
 ・札幌において機能性食品・化粧品分野に特化したビジネスマッチングを開催し、関西地区においてもBIOビジネスマッチングを開催した。  
**【施策3】札幌の優位性を活かした企業の誘致**  
 ・企業訪問や首都圏での展示会への出展等、誘致事業を実施し、IT・コンテンツ・バイオ企業13社、コールセンター9社を新たに誘致した。

**22年度(予定)**  
**【施策1】札幌の都市イメージを活用した産業の振興**  
 ・道内の生産者等と消費者である札幌市民とをつなぐことを目的として、北海道の食に関する情報を集約したウェブサイトの開設を行う。  
 ・引き続き、「札幌スタイル」の周知や認証製品の販路拡大を支援するとともに、首都圏、道外での商談会、展示会などPR及び販路拡大に努める。  
**【施策2】IT・コンテンツ・バイオなどの新産業の育成・拡大**  
 ・引き続き札幌市で機能性食品・化粧品分野に特化したビジネスマッチングを開催し、関東関西地域においても開催する。  
 ・ロケ支援業務の体制強化やさっぽろコンテンツマーケットの運用により、映像産業の振興を図る。  
**【施策3】札幌の優位性を活かした企業の誘致**  
 ・引き続き積極的な誘致事業・人材育成事業を実施し、札幌の特性を活かした誘致・振興を図る。

**● 市民・企業等との協働の状況**

**■ 市民との連携、市民参加**  
 ・「食のまち札幌」の推進:「スイーツ王国さっぽろ推進協議会」を中心にスタンプラリーなどの市民参加型事業を展開した。また、広報さっぽろ、パンフレット、HP、報道機関への情報提供の他、会場アンケートを実施する情報共有、市民参加を図っている。  
**■ 企業等との連携・協働**  
 ・北海道大学連携型起業家施設運営事業: バイオ等の先端産業の立上げを支援するために設置した北大BI(ビジネス・スプリング)について、北海道などの関係機関と連携してIM(インキュベーション・マネージャー)の派遣を行うなど、情報交換をしながら事業を実施している。  
**■ 市民・企業等が参加しやすい環境づくり**  
 ・札幌スタイル推進事業: 札幌スタイルのイメージを伝える冊子の配布や、ホームページをととしてイベント情報を広く公開する等、市民、企業の事業参加を促している。

**● 評価(成果)と課題**

**【施策1】札幌の都市イメージを活用した産業の振興**  
 ・「食のまち札幌」の推進としては引き続き、市民参加型のコンペティションの実施やスタンプラリーの開催したほか、「さっぽろスイーツカフェ」を開設し、「スイーツの街さっぽろ」の実現、さらには、食関連産業の活性化に貢献している。  
 ⇒北海道の食資源を活用した「札幌の食」等を都市ブランドとして確立するとともに、北海道産の素材をより活用することで、道内経済循環の拡大を図り、北海道経済を牽引していく必要がある。  
**【施策2】IT・コンテンツ・バイオなどの新産業の育成・拡大**  
 ・4年間で1,000名を超えるIT技術者に対して研修を実施しており、高度なスキルを有した人材や即戦力エンジニアの育成につながっている。  
 ・関西でのバイオマッチングに加え、昨年度に続き札幌において機能性食品・化粧品分野のビジネスマッチングを開催し、精度の高い商談の場を設定することができた。  
 ⇒IT産業では、中長期的に堅調な成長が望める体制構築に向けた支援を検討する必要がある。また、本市バイオ産業では大半の企業が資金人材及び販路等で課題を抱えており、有望な技術・素材を活かすため、販路拡大や企業連携の支援を強化していく必要がある。  
**【施策3】札幌の優位性を活かした企業の誘致**  
 ・平成21年度はIT・コンテンツ・バイオ産業2社、コールセンター3社が新たに札幌に立地した。これに伴い、雇用の改善や市税収入の増加等、地域経済の活性化が図られた。  
 ⇒多くの自治体が地域特性を活かした企業誘致を進めており、地域間の競争は激化しつつあることから、本市単独ではなく、石狩市など周辺市町村との連携により誘致活動を強化していく必要がある。

**● 今後の重点取組**

・食品関連産業の競争力を高めるため、これまで培ってきた企業・関係団体のネットワークや情報等を十分活用しながら、札幌の強みである食資源の高付加価値化、販路拡大などを支援するとともに、食の加工、流通、マーケティング等のプロセスについて総合的な支援を行っていく。  
 ・IT関連産業は下請的な受託型の産業構造から脱却するために、高度な技術を有した人材の育成支援を行うとともに、大型案件や本旨のIT調達案検討を地場産業が受注できるよう協業化の体制構築支援を行う。また、バイオ関連産業については、最大の課題である販路拡大・企業連携を支援するため、国内外の地域・企業との連携をさらに促進していく。  
 ・石狩市を始めとした札幌広域圏と連携した企業誘致施策を展開し、札幌経済圏として企業立地の優位性を対外的にPRしていく。また、平成21年度より新制度を立ち上げ、食料品関連や情報関連の製造業等にも誘致補助を拡充しており、札幌の地域特性を活かした企業誘致を今後、さらに促進していく。

**● 主な達成目標の状況**

達成目標名	目標値(目標年度)	H18(現状)	H21(実績)
スイーツ王国さっぽろ推進協議会への参画会員数	170社(H22)	85社	150社
スイーツマルシェ出展数	25店(H22)	20店	20店
スイーツマルシェ集客数	500人(H22)	350人	200人
[札幌スタイル]認証製品数(累計)	100件(H22)	56件	130件
販路拡大支援事業への首都圏参加企業数	200社(H22)	94社	205社
ビジネスマッチングの来場者数	800人(H22)	427人	561人
IPビジネス研究会への参加企業数	50社(H22)	—	40社
取引可能な映像作品等の集積本数(累計)	10,000本(H22)	1,500本	9,107本
ロケーション(延べ)撮影日数	500日(H22)	236日	1,298日
[高度情報通信人材育成・活用事業による]市内IT企業への就業者数	100人(H22)	72人	23人
[新産業育成推進事業]補助金交付件数(累計)	10件(H22)	2件	10件
北海道大学特許出願数	400件(H22)	271件	341件
[さっぽろバイオクラスター構想推進事業による]クラスター形成数	50社(H22)	—	51社
[企業誘致促進事業による]誘致企業数(累計)	15社(H22)	—	13社
[雇用創出型ニュービジネス立地促進事業による]事業所開設数(累計)	60社(H22)	39社	52社

**● 主な施設・サービスの整備水準**

該当なし

**● 成果指標等の動向**

